



現地での写真に見入る会場の皆さん



発表する原稿に細かくメモ書き

平成18年度

安 平 町 中 学 生 海 外 派 遣 事 業

外国での新たな発見と貴重な生活を体験

8日間の海外研修の成果を発表 事前事後で7回の研修

中学生海外派遣事業の報告会が9月1日に追分公民館で開催されました。

この事業に早来中学校と追分中学校の生徒12名が参加。8月2日から9日まで、7泊8日間の日程でオーストラリアを訪れました。

中学生の海外研修は、旧早来町で毎年実施された事業で、作文と面接をもとに選考されていきました。合併により追分中学校からも生徒を募り4名を決定。事前研修は、7月5日から始まりました。

パスポートの申請方法や渡航手続きの説明を受けたり、研修テーマを決めるために4回の事前研修と、報告会の資料作りなど事後研修を3回行いました。

同行した畑田主事は、「夏休みを挟んで計7回の研修は、生徒たちにとって大変忙しかつたと思います。しかし、回を重ねるうちに参加者同士の連帯意識が強まってきた」と感じたそうです。



スライドを見ながらの解説

市内見学とホームステイ

飛行機は21時10分に成田空港を出発し、翌朝7時35分にオーストラリアのシドニーに到着しました。

早速、一行はオペラハウスや水族館など市内を見学してホテルに戻りました。

現地滞在2日目は学校訪問。ムーアバンク校を訪れ、家庭科や美術などの授業や昼食会に参加し、折りづる作りを披露して交流を深めました。

その日の生徒たちの宿泊先はホームステイ先の家でした。

ホームステイ先で2泊過ごした8月6日に生徒たちは再び合流。受け入れ先の家族の皆さんとの夕食会に参加してホテルで就寝しました。

8月7日に国内線でシドニーからブリスベンに移動し、オーストラリアの自然学習を行い、さらにゴールドコーストの町を見学。最終日の8月9日の9時5分にブリスベンの空港を離陸し、6時間50分後の16時55分に成田空港に着きました。



日本の折り紙を指導

海外で感じ、学んだこと

12名のうち11名の生徒は、外国が初めて。機内食の味や